

「スマートフォン・タブレットの利用技術の将来動向」

— IoT への利用を目指して —

スマートフォンが誕生して10年が経ちました。今では、私たちの生活のあらゆる場面で活躍しているスマートフォン、いわゆるスマホの所有率は8割近くとなり、誰もが手放せない機器となってきました。ビジネスの面でもスマホやタブレットを利用した新商品開発や業務効率化、働き方改革などが進んできています。しかし、その一方で中小企業のスマホやタブレットの活用率は最新の調査でも4割に満たない状況です。

本セミナーでは、スマートフォンやタブレットの特徴と活用事例を紹介し、企業へのスマホ・タブレット活用の道を解説するとともに、ポストスマホと言われる世界まで見据えた将来動向について説明します。

関係各位の多数のご参加をお待ちしております。

- 主 催：金沢市産学連携事業運営委員会、金沢市
- 日 時：平成30年1月23日（火） 14：30～17：00
- 会 場：金沢市異業種研修会館（金沢市打木町東 1400）
- 内 容

【セミナー】（14:30～16:30）

① スマホ・タブレットの現状と将来動向について

アイパブリッシング株式会社 代表取締役 福島 健一郎 氏

スマートフォン、タブレットの現状と活用事例を紹介するとともに、企業へのビジネス活用について解説します。また、ポストスマホと言われる最新技術についてもご紹介します。

② 中小企業が実践してみた身の丈IoT

合同会社 金沢市民発電所 技術担当社員 田中 博志 氏

中小企業のIoT技術活用による情報の見える化の実例をご紹介します。金沢市民発電所は電子技術のバックグラウンドを生かし、自分たちが必要な物や市場にない物を自作開発し活用しています。IoT技術活用例として、汎用的に活用できるセンサやマイコン、無線技術などをご紹介します。

【情報交換会】（16:30～17:00）

講師や他の参加者との情報交換を行います。

- 対 象：ICTやIoTの活用に関心のある企業、研究開発機関、行政機関の方々（30名）
- 参加費：無料
- 申込方法：裏面の参加申込書あるいは下記のWebページからダウンロードしていただき必要事項を記入の上、FAX又はEメールにてお申し込み下さい。
- 申込締切：平成30年1月17日（水）
- 申 込 先：金沢市産学連携事業運営委員会事務局
金沢市異業種研修会館 担当 南
TEL：076-240-1934 FAX：076-240-1903
E-mail：minami_m@city.kanazawa.lg.jp
http://www.kanazawa-sangaku.jp/exchange_promotion.html

《講師紹介》

<p>福島健一郎 氏</p>	<p>アイパブリッシング株式会社 代表取締役 一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事 1996年3月、北陸先端科学技術大学院大学情報科学科博士前期課程を修了し、情報科学修士の学位を取得。 同年から情報通信系ベンダにて、音声認識／言語処理技術の研究開発、基幹系システム、Webシステムを手がけ、その後、新商品開発や新規顧客開拓の業務に従事する。中規模オフィス（100人程度）のサーバNW管理者も務めるなど、開発から運用、プロジェクトマネジメントまで幅広く経験する。 その後、スマートフォン専門のアイパブリッシング株式会社を創業。石川県金沢市を拠点に自治体向けや医療、教育等、幅広くアプリやコンテンツを開発。現在はオープンデータにも注力する。また、Code for Kanazawaの代表として、地域課題をITの力で解決するシビックテックにも力を注いでいる。さらに、様々な教育機関でIT系の講師も担当。</p>
<p>田中 博志 氏</p>	<p>合同会社金沢市民発電所 技術担当 NPO市民環境プロジェクト 理事 1970年～東光株式会半導体会津工場にて日本初の量産DRAMの開発に携わる。その後工場ごとモトローラに移籍。38年間に渡りマイコン、LSIの開発にシステム技術者として、プロジェクトマネジャーとして従事した。定年退職に伴い郷里金沢に帰省したが、再度プロジェクトマネジャーとして3年間在宅勤務で車載用のシステムLSIの開発を指揮した。現在は市民出資で再生可能エネルギーを普及する活動に従事。5年前から趣味としてオープンハードウェアでの開発をスタートし、身の丈実用IoTの開発に取り組んでいる。</p>

「先端ものづくり技術交流セミナー(第4回)」参加申込書

企業名		
所在地 〒		
TEL	FAX	
E-mail		
参加者	役 職	氏 名

お申込はFAXまたはE-mailにてお願いします。

金沢市異業種研修会館 南 宛

FAX (076)240-1903

E-mail minami_m@city.kanazawa.lg.jp